

ARTS for HOPE

宮城支局活動報告書 2017年3月7日
「仙台市 茂庭台市民センター」

Special Project

聴覚に障がいをお持ちの方(母親)、聴覚障がい・手話に関わりのある団体『デフアートラボ』の依頼にて茂庭台市民センターでスペシャルプロジェクトを開催しました。

まずは、赤ちゃんを対象にベビーアート(寝相アート)を行ないました。開催日が3月という事で、春のイメージは何か?と皆と考えながら話し合っていました。ひな祭り、桜、桃色、花集い、草緑...と次々とアイデアが浮かびます。特に桜のイメージが強く、桃色のフラワーペーパー、桃色の画用紙にて花びらをたくさん作り、布は木の形を揃えたり、春らしいデザインにしました。参加された赤ちゃん親子は5組。撮影の際、母親達の必死のあやしで5名の赤ちゃんは機嫌が良くニコニコと笑っており、とても素敵な写真を撮ることが出来ました。

ベビーアートの最中、自分で歩ける幼児達にはお絵描きを行ないました。お絵描きが好きな子供達は真っ白の細長い画用紙を見て大変喜び、早速描き始める。

クレヨン、水性ペン、ポスターカラーペンを持って夢中に描き描き、色彩鮮やかな作品が誕生しました。「またベビーアートをやりたい!」「楽しかった!」と好評の声が沢山あり、季節毎のベビーアートを開催してみたいですね。また、皆さんに笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。



